

2020年訪日外国人旅行者数4000万人等の目標達成に向けて、欧米豪をはじめとした全世界からの誘客、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会後も見据えたプロモーションのさらなる展開を実施。
また、観光財源を活用し、グローバルキャンペーン等の先進的なプロモーションを実施するとともに、ICT・ビッグデータ等の分析・活用による個人の関心にあわせた情報を発信。

1. 戦略的な訪日プロモーションの実施

国別戦略に基づくプロモーションの徹底

【欧米豪市場】

国毎の市場特性を踏まえ、魅力ある**アクティビティ等の訴求力の高いコンテンツ**を中心としたプロモーションを実施。

【アジア市場】

リピーターを含め更なる誘客促進のため、**個々の旅行ニーズに応じたきめ細かなプロモーション**を実施。

新たな市場からの誘客促進に向けた取組の推進

中東や中南米等の**訪日インバウンドの成長が見込まれる市場**において、**JNTOの現地事務所の設置準備を進めるとともに、重点市場化に向けた市場調査や先行試行的なプロモーション等を実施**



<現地消費者向け旅行博出展>



<海外広告宣伝の実施>

2. 先進的なプロモーションの実施

グローバルキャンペーン

ウェブの閲覧・検索履歴等の分析により、その個人が**海外旅行に求める興味・関心（アウトドア等）**に応じた広告を展開（オンライン広告、メディア招請等）



ターゲットの興味・関心に応じた広告展開

地域の観光資源を活用したプロモーション

JNTOのデジタルマーケティングの分析結果等も活用し、外国人旅行者にまだ知られていない**地域の観光資源**を、地方運輸局・自治体・民間事業者等が連携してプロモーション



3. ICT・ビッグデータ等の分析・活用による個人の関心にあわせた情報の発信

○JNTO内外の**ビッグデータ**や**SNSの分析結果**等を蓄積・活用することで、プロモーションの効果や災害時の風評を迅速に把握し、更なる機動的なプロモーションにつなげる。

○**SNSの分析結果**を活用し、災害対応等の**安心安全情報**をJNTOの**SNS**等で**迅速に発信**するとともに、JNTOのウェブサイトに、閲覧者の属性や関心に沿った**コンテンツを自動表示**



【平成31年度政府予算額：1,000百万円の内数（300百万円の内数）】

- 観光庁は、①文化庁・環境省と連携してわかりやすく魅力的な多言語解説文を作成できる英語のネイティブライター等の専門人材をリスト化し、②地域に派遣し解説文の作成を支援。及び、③解説文作成のノウハウを蓄積し、他地域へ横展開できるようにガイドラインを作成。
- 文化庁においては世界文化遺産や国宝・重要文化財等について、環境省においては国立公園について、最先端技術も駆使しながら外国人に魅力ある観光ストーリーを多言語発信支援。

観光庁：地域観光資源の多言語解説整備支援事業

※Writer/Editorを派遣し、文化財の魅力ある多言語解説文の作成支援



※タッチパネル式解説板による案内
(日本語音声・多言語字幕)

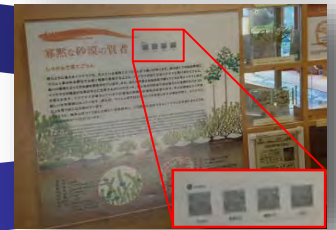


専門人材



- ①ネイティブ専門人材のリスト化
- ②解説文の作成費用 100地域程度
- ③ガイドライン作成

※Writer/Editorを派遣し、国立公園の魅力ある多言語解説文の作成支援



※2次元コードによる自然資源の多言語解説の整備（多言語音声・テキスト）

文化庁：世界文化遺産や国宝・重要文化財等

- ・ 地域の文化財を一体的に整備・支援
- ・ 観光資源としての価値を高める美装化への支援
- ・ 文化財の魅力を伝える案内板・解説板の設置



環境省：国立公園34公園

- ・ 登山道やビジターセンター、トイレ等基盤的な利用施設の整備
- ・ 自然を活かした体験型コンテンツの充実、ガイド人材の育成
- ・ 国立公園の魅力を伝える案内板・解説板の設置

